

第 1 7 7 回理事会議事録

1. 日時 : 2012 年 3 月 23 日 (金) 午後 6 時 30 分～22 時 05 分
2. 場所 : 東京都新宿区四谷 1-13 虎ノ門実業会館四谷ビル 2F
3. 出席者:【出席 17 名】 細田博之、鳩山勝郎、平田眞、山口知也、ロバート・ゲラー、勝部俊宏、兼岩芳樹、神代高弘、齋藤陽子、清水康裕、田多井菊雄、寺本直志、中谷忠義、難波田愈、久富浩、古田一雄、山田和彦
【委任状提出 1 名】 島村京子
【監事 1 名】 宮内宏 (水谷監事は欠席)
【事務局 2 名】 大政事務局長、鈴木競技会事業部長代行
【オブザーバー 1 名】 清水次期普及事業部長
(理事現在数: 18 名、定足数 12 名、本人出席 17 名、委任状提出 1 名)

4. 議事の経過及び結果

議事進行に先立ち、大政事務局長より公益社団法人移行認定書が 3 月 22 日に到着し、4 月 1 日に登記手続きを行う報告があった。また 4 月より普及事業部長に着任予定の清水映樹氏の紹介があった。

細田博之会長を議長に、兼岩芳樹、山田和彦理事を議事録署名人に選任し、議題を逐一審議した。

第 1 号議案 第 176 回理事会議事録案の承認について
議事録案を承認した。

第 2 号議案 会員の逝去および退会について
事務局より以下の会員 1 名の逝去の報告があった。
渡辺文夫 (元会長、名誉会員、会員番号 1713、2 月 10 日)
また以下の会員 2 名の退会届提出の報告があった。
大石剛毅 (会員番号 32894)、大久保瑛子 (会員番号 141325)

第 3 号議案 次期役員立候補状況について
2 月 29 日に締め切られた次期役員立候補状況について、理事、監事とも定数内に収まったため、役員候補選出選挙は行わず、以下の立候補者全員の承認を求める議案を会員総会に提出するとの説明があった。
理事候補者: 兼岩芳樹、神代高弘、ロバート・ゲラー、齋藤陽子、島村京子、

寺本直志、中谷忠義、鳩山勝郎、久富浩、平田眞、細田博之、
山口知也、山田和彦

監事候補者：大泉紘一、成田秀則、水谷建

第4号議案 公認ブリッジセンター申請について

以下の申請について審議の上承認した。

渋谷ブリッジセンター

マネージャー：寺本直志、ディレクター：山後秀幸

開催数：クラス③×10、クラス④×11

住所：東京都渋谷区道玄坂1-13-5 鈴基本館ビルMST渋谷3F

第5号議案 2012年度事業計画および予算案について

予算案および事業計画書案について以下の説明があった。

- ・事前配布した予算案に、初心者大会の法人会計から公益事業への移行、Yeh Bros Cup の開催予算案、世界ユース選手権へのチャイニーズタイペイガールズ（U26 女性）チーム助成案が加わり、収益 290,335,200 円、費用 353,373,453 円収支差額 62,947,253 円の赤字となっている。この中には国際大会準備金でまかなう 53,239,200 円の APBF コングレスの費用が含まれているため、実質的な赤字額は約 970 万円となるとの説明があった。
- ・2月および3月に開催された企画委員会において媒体広告の費用と効果について説明が求められたため、この点について山田広報担当理事より以下の説明があり、これを了承した。
 1. 2010年度予算編成時に APBF 福岡大会を視野に入れ、雑誌広告を含む本格的な広報活動に取り組み、広告宣伝費を倍増することが決定され、雑誌広告を中心とした媒体広告の実施が開始され現在に至っている。
 2. 2011年度は高橋前普及事業部長の退職に伴い媒体広告の展開を抑制したため、当初予算 950 万円に対して、約 600 万円の執行となっている。媒体広告はイメージ広告と体験教室などの催し告知の二本立てで実施しており、広告を出す場合は実施費用の低減に努めている。
 3. 効果の評価については定量的な把握は困難。3年から5年程度実施した上で、認知度や競技会参加者数により評価すべきと考える。普及に携わる関係者からは催し告知については効果的との評価が多く、拡充が求められている。ブリッジクラブの調査からはより一層の広告展開を求める声が多い。
 4. 2012年度については800万円の広告宣伝費を計上しているが、清水普及事業部長および担当理事の選任を経て、効果的な実施を行う。APBF 福岡大会終了後、改めてブリッジの認知度調査やウェブアクセス状況の結

果など評価を行い、2013年度以降の実施について検討する。

- ・業務委託契約について兼岩総務担当理事より以下の報告があった。
 1. 関澤美穂氏については業務量が当初の計画より増加したため、2012年度は当面3ヶ月間現状通りの契約を行い、それ以降は個別案件ごとに業務量に応じた契約としたい。
 2. 吉田正氏については九州関連について週1日程度の業務があるため、9月まで月額112,000円を支払い、10月以降はNECBF関連業務が加わるため再検討を行う。
 3. 前田良徳氏についてはAPBFコンGRESS業務が半年間で終了するため、9月まで現状通りの契約とし、10月以降の契約については再度検討する。
 4. 大石剛毅氏については9月まで現状通りの契約とし、10月以降は更新しない。

中谷理事より業務委託契約についての検討は3月ではなく早い時期に行うべきである、また本来毎年業務内容の検討をするべきで、業務委託が自動継続となる契約内容はおかしいという発言があった。

検討の結果、関澤氏との契約は承認し、他の3名については第6号議案の九州支部関連の報告時に検討を行う事に決定した。

関澤美穂氏との業務委託契約について、高橋前普及事業部長の退職に伴う業務量の増加、新公益法人への移行に伴う予算フォームや事業計画書の作成に契約以上の仕事を行ったため、契約外の金額を支払いたいと提案があり、審議の結果、仕事量に応じて最大2ヶ月分の金額を支払うことに決定した。

- ・宮内監事より来年度約900万円の赤字が来年度のみでなくその後も継続するようなら非常に問題があるため、対応策を検討するべきとの発言があった。
- ・第6号議案の検討内容を反映する事で事業計画と予算案を承認した。

第6号議案 各委員会及び事業部報告

1. 企画委員会

平田委員長より2月17日および3月9日開催の企画委員会の予算審議の内容についての報告があった。

2. 九州支部

今後の福岡ブリッジプラザおよび九州支部の運営体制について九州関係ワーキンググループにおいて検討を行い、鳩山副会長より九州支部は固定費を極力発生しない体制への移行を目指し、福岡ブリッジプラザはAPBFコンGRESSを契機に参加者を増加させ、大会の1年半以内に黒字化をめざ

すとの報告があり、これを了承した。

更に、プラザ黒字化のためには現地側の努力だけに任せるのではなく、黒字ブリッジセンターのノウハウ移転など東京側からの支援が必須であり、この業務を吉田正氏に委託したいとの提案があった。これに対し人選につき反対の意見が出され、審議中に神代理事より福岡ブリッジプラザ自立を目指し、2013年3月末まで1年以内に結論を出すように活動したいとの申し出（無報酬、ただし実費を補填）があり、これを承認した。

九州支部および福岡ブリッジプラザの業務委託契約を結んでいる大石剛毅、前田良徳氏とは今年度と同条件で9月までの契約を結び、10月以降については別途契約を結ぶこと、今年度まで九州関連、NECブリッジフェスティバル、その他業務を委託していた吉田正氏とは来年度の契約を結ばないことに決定した。

3. 人事委員会

神代委員長より、3月9日に開催された人事委員会についての報告があった。

- ・2006年度に職員給与規則の改定を行ったが、その時点では前事務局長が出向派遣者であったため、事務局長職については規則に未記述であった。今回みずほ情報総研に依頼し、事務局長ユニットの給与テーブルを追加したことに伴う職員給与規則の改正案について審議を行い、これを承認した。
- ・福崎洋子職員の退職金について、自己都合退職のため規定どおり減額を行うが、23年間勤務の功績により、退職金規則第4条により退職金の20%増額の提案があり、審議の結果これを承認した。なお、福崎職員は退職後も週2～3日程度時給制で勤務することを希望しており、業務内容、金額について次回理事会に報告する事に決定した。

4. 公益法人移行委員会

先に送付した委員会規則、理事会規則、規則類管理規則について審議を行い、一部修正の上これを承認した。

本日配布した組織規則修正案および総会決議事項の会員総会運営規則については次回理事会において検討することになった。

5. 代表選抜委員会

第2回ワールドマインドスポーツゲームズ(WMSG)日本代表選抜試合オープンチームのNPCに三浦裕明氏、ウィメンズチームのNPCに小池和人氏への指名を希望する提案があり、審議の結果これを承認した。

6. 競技委員会

清水委員長より3月7日開催の第216回競技委員会の報告があった。

神代委員よりハンドブックに **WBF** コンベンションカードの略称の記載がないが、掲載を求める提案があり、来年のハンドブック発行までに検討することになった。VP スケールについては競技会規定に盛り込むべきとの発言があり、次回競技委員会において検討することに決定した。

7. 普及事業部

大政普及事業部長代行より、普及事業部の活動状況について報告があった。ユース部会より提出された 2012 年 7 月 24 日～8 月 4 日に中国で開催される世界ユース選手権の代表チームジュニアの部 6 名（補欠 1 名）、ヤングスターの部 6 名のメンバーについて審議を行い、これを承認した。

8. 競技会事業部

- ・事業部活動状況及びゴールドライフマスター4 名、シルバーライフマスター2 名、シニアライフマスター15 名、ライフマスター16 名の資格取得者の報告があった。

ここで細田会長が退席したため、鳩山副会長を議長に選任し、残った議題について審議を行った。

9. 国際交流事業部

- ・ **Yeh Bros Cup** の日本開催について現状の円ドルレートでは約 320 万円程度の赤字が見込まれること、**Yeh** 氏より 4 月開催を希望している状況で会場の確保が現時点ではできていないこと、**Yeh** 氏側がホテル代金について 1 室 1 泊朝食付 150 ドル以内を希望していることなどにより現状では確定できないが、開催の可否を 4 月 15 日をめどに決定したいとの説明があった。この競技会開催について審議を行い、採決の結果、反対が鳩山、山口、田多井の 3 名、棄権が清水、中谷の 2 名、他の出席理事が賛成となり、賛成多数で開催に向けて検討を進めることに決定した。
- ・世界ユース選手権のガールズカテゴリーへの出場について、ゾーン 6 から主催国の中国とインドネシアが出場することが決定している。もう 1 チームについて、日本からのチーム派遣が困難であるため、チャイニーズタイペイに打診したところ、派遣は可能だが資金調達に支障があり、**JCBL** から助成があればありがたいとの要請があった。助成の実施について採決を行い、反対が鳩山 1 名、他の出席理事が賛成となり、賛成多数で 30 万円の助成を行うことに決定した。
- ・**NEC** ブリッジフェスティバルの決算報告が提出され、参加料収入が予算を下回ったため、赤字額が約 1400 万円となったとの報告があり、これを承認した。

第7号議案 その他の議案

1. チャリティ寄付先について

チャリティ寄付先として以下の寄付先を承認した。

高松宮妃癌研究基金	20万円
全国視覚障害者雇用促進連絡会	20万円
プランジヤパン	20万円
癌研究会	15万円
朝日新聞厚生文化事業団	10万円
読売光と愛の事業団	10万円
日本赤十字社	10万円
日比パガサの会	10万円
アイメイト協会	10万円
あしなが育英会	10万円
日本イコモス国内委員会	10万円
Room to Read	10万円
横浜音声訳グループやまびこ	5万円
国連WFP協会	5万円
合計	165万円

Room to Read への寄付はNECブリッジフェスティバル期間中に開催したチャリティ古書市の売上金 67,922 円にチャリティ基金を加えた 10 万円としたこと、チャリティ基金の残高が約 120 万円のため、不足額を一般会計から支出する事を承認した。

2. 次回の理事会開催について

今回は 2012 年 4 月 27 日（金）午後 6 時 30 分に開催する。

当日配布書類：「公益社団法人移行認定書」

第5号議案「2012年度予算案総括表修正版」「予算フォーム修正版」「媒体広告の実施に関して」「2011年度広告宣伝費（対メディア）支出」「業務委託契約の改訂について」

第6号議案「組織規則修正案」「現行組織・業務分掌規程」「現行事務局職務権限規程」「普及事業部報告」「2012年度ユース代表承認のお願い」「国際交流事業部報告」

平成 24 年 3 月 23 日 (2012 年)
社団法人日本コントラクトブリッジ連盟
第 177 回理事会
議 長

議事録署名人

議事録署名人